

## 宇都宮の町名

栃木県立博物館 人文課長 篠崎 茂雄



市で設置した旧町名を記した表示板。  
「歌橋町」は一条中学校東側の辺りである

宇都宮市には492の町がある。市街地の拡大とともにその数は増えており、平成になってからも、今まであった町からインターパーク、ゆいの杜、宮みらい、城東などいくつかの新しい町が生まれた。このうち「インターパーク」はカタカナ表記であることが当時としては珍しく、また「宮みらい」は斬新な名称であることからマスメディアやネットなどで大きな話題となった。

宇都宮市では昭和38年からこの事業に着手している。翌39年には現在の不動前通り、蓬萊大黒通り（旧日光道中）にあった蓬萊町、大黒町、熱木町、歌橋町、南新町などが、西原、花房、新町などになった。また、この頃には一条町の他に二条町、三条町、四条町、南宇都宮駅のあたりには桜馬場通りという町名も存在していた。そして、昭和49年には宇都宮の中心市街地の東側にあった石町、大町、上河原町、扇町などがなくなり、現在の町名となつている。

町の区域の変更にあたつては、道路や鉄道、河川などの恒久的な施設をもつて境界を定め、国の基準にあわせた面積で分けられる。そして、名称はその地域における歴史や伝統、文化などを考慮し、親しみ深く語調のよいものを選んで定められる。これらは、市長の諮問機関である住居表示等審議会のなかで、関係行政機関職員、学識経験者、臨時委員（地元自治会）などが検討し、その結果を市長に答申、議会の可決でもつて決定される。

昭和時代後期になると、区画整理事業の伸展に伴い、宇都宮駅の東側や江曾島駅、雀宮駅一帯でも住居表示が実施された。住居表示を行うことで、消防車や救急車などがより早く現場に到着することができ、配達物の誤配や遅配を防ぐことができるなど市民生活や経済活動の利便性が向上する。しかし、その一方で自然や歴史、文化的に意味のある町名が消えることもある。その土地に生まれ育ち、愛着を覚える名称であつたなら、なくなつた時の喪失感は大い。

宇都宮市では、旧町名を記した表示板を各所に設置している。またバス停や街道名、公民館の名称などからは旧町名の痕跡を見つけることができる。古地図を片手に町を散策してみてもいいだろうか。新たな発見があるかも知れない。

あなたの本づくりをお手伝いします。

一冊のぬくもりを大切にしたい。  
これが私たちの編集コンセプトです。

図書出版・企画・編集・制作

37th SINCE 1985 随想舎

まずはお電話を ☎028-616-6605

http://www.zuisousha.co.jp 〒320-0033 栃木県宇都宮市本町10-3 TSビル

総務・営業部 1F TEL.028-616-6605 FAX.028-616-6607 編集・制作部 2F TEL.028-616-6606 FAX.028-616-6608 e-mail: info@zuisousha.co.jp